資料４

令和７年度　第２回総合教育会議における教育委員等からの意見への対応について

令和8年8月21日

教育委員会事務局

No.	教育委員等からの意見			対応	担当課
	委員名	会議録頁	意見等		
1	山邉委員 市長	P5 P12	（山邉委員の発言を踏まえ） 不登校において家庭でも学校でもない別な居場所（例えば民間のフリースクール）について、今ある仕組みを充実させるのも1つだが、新しい仕組みについても教育委員会で検討することが大切ではないか。支援員は必要、有効だが、支援員を増やして解決できるのかという視点でも考えなくてはならないし、人員の確保も課題。先進事例含め、何か仕組みを考えてもらいたい。	不登校においては、様々な要因が複雑に絡んでおり、一朝一夕で容易に解決できるものでないことは周知の通りだと思います。教育委員会といたしましては、新規の不登校を出さないことが、解決につながる一因と考えております。今後も継続して居心地の良い学級、魅力的な学校づくりに取り組むとともに、安心して過ごせる環境の一つとして、支援員の配置を実施してまいります。 また、子どもたちの学びの場と居場所を確保するために、子ども総合相談室やリトリート、マチエール等との連携もさらに深めてまいります。新しい仕組みとして「学びの多様化学校」なども考えられますが、本市の現状や他市の実施状況を鑑み、不登校児童生徒のために実現可能性を研究していきたいと思います。	学校教育課
2	和田委員 市長	P11	（和田委員の発言を踏まえ） 「南相馬ふるさと至誠学」として学校で取組もうとしていることが、大人にとっても魅力を引く内容なのかもしれない。教育委員会で検討してほしい。	南相馬ふるさと至誠学における３つの学習メニュー（報徳仕法、野馬追い、震災関連）について、各生涯学習センターでは、報徳仕法を学ぶ教室・講座を継続して開催しております。広く市民が報徳仕法を知り、学ぶ機会としては、毎年「報徳のまちづくり講演会」を開催しております。 また、生涯学習センター各種講座等において、野馬追いや防災、震災を知る企画を取り入れ、まちづくり出前講座においても、学習メニューを揃えており、市民団体等が受講されております。 これら学習メニューのさらなる充実には、休日・夕方の講座等開催も検討課題となりますが、講座等開催に向けては、講師の意向や受講者の動向などの十分な把握に努めてまいります。	生涯学習課

No.	教育委員等からの意見			対応	担当課
	委員名	会議録頁	意見等		
3	和田委員 市長	P13	（和田委員の発言を踏まえ） 中年層の学ぶ意欲（20代から50代）をどこで拾うべきなのか。すべて生涯学習課（生涯学習センター）でやるのは酷かもしれないが、他の市町村ではどのようにしているのかも踏まえながら、生涯学習に参加してもらえる方の範囲を広げる取組みができたらいい。	生涯学習センターでは、親子参加型の学習・交流事業と、子育て世代向けの講座等を実施するとともに、一部講座等では、休日・夕方に開催するなど、子育て世代、勤労世代が参加しやすい環境づくりに取り組んでおります。また、市民がいつでも、どこでも学べる機会を提供するため、YouTubeで講座を配信しております。さらに、高等学校開放講座においても、親子で受講できるようにしております。 また、講座の企画・運営等のノウハウを学び、スキルアップを図るため、毎年、生涯学習指導員による先進地視察研修を実施しております。研修成果を活かし、子育て世代、勤労世代の学習ニーズを調査し捉え、学習メニューの創意工夫に努めてまいります。	生涯学習課